



プレスリリース

2020年3月吉日

第48回 モード・イン・フランス展 ファイナルレポート

去る2020年2月5日(水)から7日(金)までの3日間、第48回モード・イン・フランス展が開催されました。(主催:フランス婦人プレタポルテ連盟) ご来場いただいた人数は、昨年1月展と比べ19%の増加、企業数は18.8%の増加となりました。長年1月だった会期を初めて2月にずらし、会場の装飾やブース什器を見直して新たなダイナミズムをもって開催した結果、見事に成功を収めることができたと言えます。特に初日は多くの来場者でにぎわい、2日目および3日目はじっくりと発注するバイヤーの姿が見られました。

メンズコレクションの特集は第2回目となりましたが、ファッションリーダー格の百貨店やセレクトショップのバイヤーが多く訪れました。とりわけ好評を博したのは、「メゾン・エフ・パリ」(初出展)と「スポール・デポック」(出展2回目)です。

今回は、バイヤー誘致の戦略も大幅に見直しました。新規来場者が全体の44.5%を占めていることから、その成果が実ったと考えられます。一都三県以外の遠方から来場した人の割合は23.2%に上り、前回より5%以上増加しています。

今後、この層が満足し再び足を運んでもらえるような取り組みが必要になると思われ、春夏コレクションの受注商談会となる2020年8月展への成功に向けて、関係者一同の飽くなき挑戦が続きます。メンズブランドを対象に、ショップの視察やバイヤーとの事前アポイントメントなど、マーケティングを強化することがすでに予定されています。

以下、来場者および出展者のコメントをいくつかご紹介させていただきます。

「出展ブランド数や規模感がちょうどよく、メンズコレクションの出展により仕入れの幅が増えたのはとてもうれしいことです。また、B2B用のネット通販サイトを展開している出展者については、一度ブランドの傾向を確認し、生地グレードを触って確かめていれば大いに活用する価値があり、パリ出張の取りやめを補うものとして魅力を感じます」(会員制ブティック San Otti バイヤー、鳥飼氏)

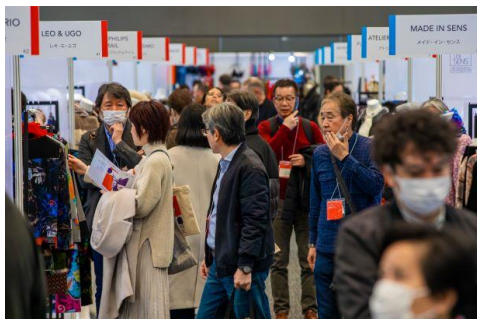
「シルエットや素材、色使いが明らかに東京のブランドと異なる、若手デザイナーのクリエイションが興味深い。歴史あるアパレルメーカーと若手デザイナーが相まって、全体的に活況な印象を受けます」(『繊維ニュース』記者、市川氏)

「レディースのバイヤーが多いものの、興味深いコンタクトがいくつも得られた。7月展に出展した際の顧客も来場してくださった。今回発表した秋冬アイテムも、今後の展開に期待してフォローアップしていきたい」(出展ブランド Sports d'Époque / スポール・デポック)



「ブースの仕器が新くなるなど、会場全体がシンプルで洗練された雰囲気になりよかったと思う。既存の顧客に加え、前は具体的なビジネスにつながらなかった顧客から受注があるなど、手ごたえを感じた」(出展ブランド Catherine André/カトリーヌ・アンドレ)

「会場やブース装飾が変わって、全体的に明るく開放的になり、コレクションをより魅力的に見せてくれるようになった。モード・イン・フランス展でのおなじみの顧客、新規の顧客のほか、通常はパリでお目にかかる顧客も来場してくれたのが印象的だった。東京での買付けがひとつの良い選択肢となっているようだ。とてもプロフェッショナルなバイヤー揃いで、皆さん日本のアパレル市場の底堅さを信じている」(出展ブランド Mât de Misaine/マ・ドゥ・ミゼーヌ)



【今後の開催日程】

※会場はいずれもベルサール渋谷ファースト地下1階

第49回展 2020年8月26日(水)～28日(金)

第50回展 2021年2月3日(水)～5日(金)

【日本でのお問合せ先】株式会社プレゼンス(モード・イン・フランス事務局)

東京都世田谷上野毛 1-3-24, A-2 Tel/Fax:03-5760-6771 info@presence-biz.com

www.tokyo.modeinfrance.com www.presence-biz.com